

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2016/06/04

こども環境保全委員会発足

平成28年6月(木)
 尾張旭市渋川福祉センター3階
 研修室にて発足。
 第一回テーマは「葉っぱのちり」
 フタパアオイの歴史を巡る。
 こども達には木版に絵具で葉っぱのちりに繋がる絵を書いてもらった。
 この木版を、バスルにして葉っぱの保全環境活動に役立てることを

これから運動をする目的で発足した。
 これは子供達に主体性を持たせた主体的な学びがこの一環として実施した。
 フタパアオイ「グ」受け身の授業から、子どもたちが議論や意見を通じて主体的に学ぶ、
 人間的に教える、
 込め、スナール授業を
 びなでわいひのやることで、



2016/06/12



2016/06/12



2016/06/12

生徒自身が体験し、振り返り、気づき、新しい行に達する。ことかできる。皆んな真剣に書いてわいひわいひ、ガヤガヤたのしみ、絵を書いた。
 7月中旬にはバスルになぞり度々来ます。又保育スナールで、年長組に絵を書いて、バスルに挑戦させます。これが、感銘教育の一環として、続けて行きます。

▲ みんな下書きなしで書きました。自分の思った通り大人は一切口を封さない。こども達の創造力が大切です。



2016/06/12



2016/06/12

(上) テーマのモチーフ
 フタパアオイ(九州四国は絶滅危惧種)